
虹 1

宝井あまね

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

虹 1

【Nコード】

N9263Y

【作者名】

宝井あまね

【あらすじ】

ラルドは 路地裏に住む少年。

ある日ラルドは暗い生活に耐えられなくなって 父親をふりきって 家から飛び出す

新しい世界で ひとりで生きてゆこうと決めたラルド。

少年が 新しい世界に旅立つファンタジーです。読んでいただけると嬉しいです。 感謝感謝 ☆

目覚めた翼

僕は 『天国』 という言葉が好きだ。

あの世にあるという『天国』ではなくて、 今 生きてるところで 『天国』 のような場所に いたい。そうゆう意味だ。

「いいことをしたら死んでから天国にいけますよ」 とか 「悪いことをしたら死んでから地獄におちますよ」とか っていうのは あんまり興味がない。

今 生きてるこの世界に 天国も地獄もあるだろ？

× × ×

朝のやわらかい明るさが 閉じた瞼からでも 感じとれる。いろいろな鳥の泣き声が聞こえる。そのやかましいくらいの泣き声に ラルドは目を覚まし、モゾモゾと身体を動かした。身体が痛いぞ。あ、そうか 昨夜はベンチで眠ったんだった。ラルドは無理をせず、じっとしたまま そっと目を開けた。 緑の葉をつけた木の枝が見える。鳥たちの姿は見えないが、たくさんあちこちの枝に止まっているのだろう、風もないのに枝がゆらゆらと揺れている。その枝の間から 水色の空のかけらがあちこちに見えた。 そのあまりの水色に ラルドは吸い込まれそうな感覚を覚えた。

「う：ん。」 しばらく空に見とれていたラルドは そっと 両手を伸ばした。そして右足、次に左足。最後に用事しながら背骨を伸ばす。

「ふう。」 力を抜いて首を左右に振る。 身体中が痛い。固いベンチの上で眠ると こんなことになるのか。 ラルドは 今まで当たり前前に眠っていたベッドが：それが 古く固いものだったとして

も とてもありがたいものだ。事を初めて知った。 それと同時に 外で迎える春の朝が こんなにも気持ちが良いことも！

ラルドは、用心しながら今度は上体を起こしていった。頭にズキンと激痛が走る。 ラルドはそっと左のこめかみを触ってみた。どうやら痛みの原因は ベンチだけではなさそう。こめかみにはこびりついた血が固まっていた。

「あのクソ親父。思いっきりぶん殴りやがって。」

ラルドのつぶやきは すがすがしい朝の公園にはあまり似つかわしいものではなかった。 それに気がついた彼は 一人でニッと笑った。そう。僕は僕にふさわしい 美しい場所にいる。あの 薄暗い汚れた路地裏から僕はもう 脱出したんだ！

ラルドは満足そうに手を広げ足を広げ 大声で叫んだ。

「ハロー！僕だけの世界！」

× × ×

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9263y/>

虹 1

2011年11月27日19時48分発行